

平成22年9月第3回幸田町議会定例会 報告

議会報告 9月定例会

9月議会 (9月10日開会～10月4日閉会)

平成22年 第3回 幸田町議会定例会(9月議会)が、9月10日召集され、10月4日までの会期25日間の日程で開催されました。一般質問では、8名の議員が町政を問い質し、単行議案9件(内報告4件、承認5件)補正予算関係9件、決算認定関係10件、計28件が上程され原案どおり可決しました。また陳情1件を審議し採択しました。

《議案》

- ・財政健全化判断比率等について
- ・副町長の選任について
- ・教育委員会委員の任命について
- ・職員の勤務時間、休暇等、条例の一部改正
- ・消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ・火災予防条例の一部改正
- ・国民健康保険条例の一部改正 等

《補正予算関係》

- ・一般会計及び、特別8会計補正予算

《決算認定関係》

- ・平成21年度一般会計歳入歳出決算認定

～皆さんに直接関係する議案の説明～

<副町長の選任について提案>

副町長に、前総務防災課長の「成瀬 敦」氏(昭和31年生まれ53歳)を選任し、全員賛成で同意されました。内部若手登用で職員の活性化が期待されます。

<平成21年度決算認定>

- ・歳入総額：146億4013万円、対前年度2.2%増
- ・歳出総額：139億1042万円、対前年度1.3%増
- 【主な歳入】町税80億1248万円(対前年度7.8%減)
町民税26億5502万円(対前年度32.1%減)
- 【主な歳出】総務費23億0318万円(対前年度76.1%増)
定額給付金5.5億円、新駅関係2.2億円等

陳情

「30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情書」 幸田町教職員組合…「採択」

一般質問「事業仕分け」導入の答弁引き出す！(9/13:さこう弘康 登壇)

質問: どう進める「事業仕分け」!

答弁: 公開しながら、徹底して進める。

所信表明の「徹底して無駄を省き、ピンチをチャンスに変える」行財政改革を問う。

Q1: 所信表明で示した「事業仕分け」の思いは。

A1: 混迷が続く中、自治体が生き抜くためには、町民の人たちに現状を見てもらい判断する材料をつくり進める。

Q2: 「事業仕分け」は、経費を浮かせ、それを捻出する手段なのか、町民・職員の意識改革のための手段か。

A2: 町民、職員の意識の改革が一番だと思っている。

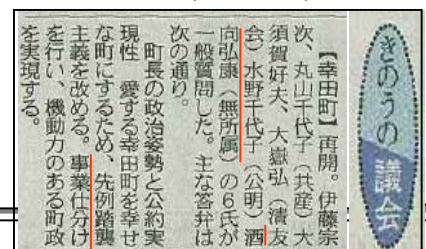
Q3: 「事業仕分け」の実施時期と、いつの予算から反映されるか。

A3: 早期実施を目指したい。次年度予算に計上し実施していく。

Q4: 住民の声を聞き「本当のムダ」を見極め推進を。

A4: 公開しながら、決断をしていく。

中日新聞(2010.09.14)より



質問: 「産業振興策」は緊急課題だ。

答弁: 新産業の活性化を進める。

8月22日、町長選挙・・・「大須賀町長」

幸田町長選挙が8月22日投開票され、大須賀一誠氏が当選されました。得票数は、9680票でした。町議補欠選挙は浅井武光氏と山本隆一氏が当選されました。投票率は、60.79%で、前回の53.48%を上回ったものの、7月11日の参議院選挙の68.99%を下回る結果となりました。町長選挙は、町を2分する激しく、熱い選挙戦となりました。新町長には、町民との約束を実現し、信頼の輪を広げて、活力ある町づくりを推進されることを期待しています。

トピックス

「ようこそ！幸田町へ」(8/29～9/11)

幸田町とカンボジア王国とのフレンドシップ継承事業の一つとして、カンボジア青年を本町に招へいして、交流を深める目的の事業です。

今回は、KIA(幸田町国際交流協会)が中心になり、4人の青年が、行政・産業・文化・教育の現場を見学研修をしました。

私が担当した8月31日、町内企業見学を終え、蒲郡の海岸に行ったときの開放的な歓声と笑顔が印象的でした。カンボジアに帰国後、両国友好の架け橋となってもらえることを期待しています。



データで見る 幸田町の「安全」

岡崎警察署調べ
(H22/1月～8月末)

防犯

学区別分析

交通安全

学区	総数	前年比	侵入盗	乗物盗	非侵入盗
坂崎	22	-5	4	2	16
幸田	55	-8	4	7	44
中央	25	-19	6	4	15
荻谷	50	-4	1	33	16
深溝	49	0	6	13	30
豊坂	26	-6	7	5	14
合計	227	-42	28	64	135

学区	件数・人数	総数	前年比	死亡	重症	軽傷
坂崎	件数	22	5	0	0	22
	人数	28	7	0	0	28
幸田	件数	38	1	0	2	36
	人数	44	1	0	2	42
中央	件数	24	8	0	2	22
	人数	29	9	0	2	27
荻谷	件数	17	-8	0	0	17
	人数	21	-16	0	0	21
深溝	件数	25	-6	0	0	25
	人数	32	-5	0	0	32
豊坂	件数	15	-3	0	0	15
	人数	20	-4	0	0	20
合計	件数	141	-3	0	4	137
	人数	174	-8	0	4	170

～高めよう「地域の力と自主防衛」～

幸田町は、「安全・安心なまちづくり条例」を策定し、平成22年1月1日より施行しました。町内の犯罪発生件数は、平成15年(744件)をピークに32%減少し、地域における自主防犯活動が、効果をあげていると思われます。

～高めようモラル 守るルール～

幸田町内での交通死亡事故0件は「700日」を達成しました。(過去の記録:659日間)しかし、歩行者や自転車と車の大きな事故が発生しており、決して安全で安心できる状況ではありません。

PR

さこう弘康のホームページを見に来てください。「ご意見ご要望も受け付けています」

さこう弘康

検索

<http://www.hiro-sakou.com/index.html>